

# 大学図書館問題研究会京都支部第 38 回京都支部総会議案

## 【第 1 号議案】

2014 年度（2014.7～2015.6）活動総括及び

2015 年度（2015.7～2016.6）活動方針

### 1. 2014 年度活動総括

#### (1) 研究交流活動

2014 年度は「会員発表の場」「知的交流の場」「未会員への広報の場」として年 2 回程度の開催を目標に、3 回開催しました。今年は、大学図書館の見学・交流から、学生会員の発表、そして最新の情報収集など多岐に渡る内容と言えます。

##### 1) 秋の奈良！大学図書館見学ツアー

開催日時:2014 年 11 月 29 日(土) 10:00-17:00

主 催:大学図書館問題研究会京都支部・大阪支部

参加費:無料

参加者数:25 人

「奈良公園散策とランチの会」「奈良教育大学附属図書館見学会」「奈良女子大学学術情報センター見学会」「プレ忘年会」を実施しました。

##### 2) 飛び出せ！ダイトケン学生会員 ～学生の発表！学生との交流！～

開催日時:2015 年 1 月 10 日(土) 13:30-17:00 (13:00 開場)

会場:キャンパスプラザ京都 第 1 会議室

参加費:無料 (大学図書館問題研究会の会員でない方も無料です)

参加者数:17 人

学生会員(齊藤 涼さん)の研究発表「国民精神総動員文庫について～1 年間の調査報告」。

学生によるポスターセッション(立命館大学、京都女子大学)。図書館で働く学生によるバーチャル図書館案内を実施しました。学生との交流が印象的な企画となりました。

##### 3) 大図研近畿 3 支部合同例会 日本十進分類法新訂 10 版の全貌

開催日時:2015 年 3 月 21 日(土) 13:45-17:00

会場:京都市国際交流会館 第 1 会議室・第 2 会議室

講師:藤倉 恵一 氏(文教大学越谷図書館)

共催:大学図書館問題研究会大阪支部・兵庫支部

参加費:大図研会員は無料(非会員は 500 円)

参加者:51 人

NDC10 版が刊行されましたが、外見からして“大きく”変わりました。「なぜ変わったのか」「かたちのほかにどこが変わったのか」「変わらなかったものは今後どうなるのか」「今後といえば“あの話”はどうなっているのか」などなど、時間の限り、そして許されるギリギリのところまで、徹底解剖していただきました。

## (2) 支部報

2014 年度刊行分につきましては、発行期日の遅れが生じた号もありましたが、計画的発行に努めました。連続企画としての「わたしの図書館紹介します！」や、新入会員が入会するたびに「新入会員挨拶」を継続して掲載してきました。また、2014 年度はワンディセミナーの報告原稿を充実させるとともに、支部会員が参加した他支部のイベントの報告も掲載いたしました。2014 年度発行した支部報の目次は、次のとおりです。

### 1) 支部報 No.301 (2014/08/15 発行)

- 大学図書館問題研究会京都支部第 37 回京都支部総会を開催いたしました
- 大学図書館問題研究会第 37 回京都支部総会議案

### 2) 支部報 No.302 (2014/10/15 発行)

- 大学図書館見学ツアーのご案内
- 小特集：大図研京都ワンディセミナー  
「「公開！」関西ディスカバリー担当者会議」参加報告  
・「公開！」関西ディスカバリーサービス担当者会議」に参加して(太田 仁)  
・ディスカバリーサービスについて議論した一日(金森 悠一)  
・ディスカバリーサービスをめぐるさまざまな「戦略」を考えながら(古賀 崇)
- 支部委員 挨拶

### 3) 支部報 No.303 (2014/12/15 発行)

- 大図研近畿 3 支部新春合同例会のご案内
- 連続企画：私の図書館紹介します 6 京都橘大学(中村 敬仁)
- 新入会員挨拶(山形 知実)
- 新入会員挨拶(津田 直暉)
- 会費納入のお願い

### 4) 支部報 No.304 (2015/02/15 発行)

- 大図研近畿 3 支部新春合同例会のご案内
- 小特集：大図研京都ワンディセミナー「飛び出せ！ダイトケン学生会員～学生の発表！学生との交流！～」参加報告  
・大図研京都ワンディセミナーの感想(出口 慎一)  
・若い力に希望を感じた研修会(山下 晶子)
- 「秋の奈良！大学図書館見学ツアー」参加報告 奈良はゆったり美しい(平川 陽子)
- 『アナログ司書の末裔伝：図書館員は本を目で見て、手でさわらなあかんよー廣庭基介先生傘寿記念誌の薦めー』(堤 美智子)

### 5) 支部報 No.305 (2015/04/15 発行)

- 大図研近畿 3 支部合同例会 終了しました
- 大学図書館問題研究会大阪支部例会「春を求めて和歌山へ：和歌山大学附属図書館渡部館長講演会、図書館見学と和歌山散策」に参加して(今野 創祐)
- オープンアクセスと被引用率の関係 - 京都大学における生命科学系論文の統計から見えるもの(坂本 拓)
- 『異動に伴うアドレス等変更のご連絡のお願い』

#### 6) 支部報 No.306 (2015/06/15 発行)

- 大学図書館問題研究会京都支部第 38 回京都支部総会のご案内
- 大学図書館問題研究会京都支部第 38 回京都支部総会議案
- 小特集：大図研近畿 3 支部新春合同例会「日本十進分類法新訂 10 版の全貌」参加報告
  - ・大図研近畿 3 支部合同例会「日本十進分類法新訂 10 版の全貌」に参加して(小寺 祥世)
  - ・新しい日本十進法分類(山上 朋宏)
- 京都支部委員の募集について

#### (3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

Web サイトでは、イベントのお知らせや、支部委員会の報告等、支部活動の記録を定期的かつ迅速に掲載しています。2011 年度に開始した支部報電子版の公開は創刊号から最新号まで、一部許諾の得られなかった記事を除き、全て掲載しています。また、Web サイトの見直しについても検討が始まりました。Web サイトは 2015 年 7 月 2 日現在、19,964 アクセスを得ています。(アクセスカウンター設置：2006 年 8 月 22 日)

メールマガジンは、「大図研京都支部 NewsLetter」として、no.190 (2014 年 7 月 1 日) から no.203 (2015 年 5 月 31 日) を発行しました。支部活動をお知らせするものとして、支部委員会議事録、支部企画案内を紹介する記事を配信しています。また、図書館関係のイベント案内を月 1 回に配信していますが、4 月のイベント案内からその月に締切日があるイベント情報の掲載も始めました。

さらに、Twitter の活用を図り、394 アカウントのフォロワーを得ています。忘年会やワンディセミナー告知、セミナー内容のツイートやそのまとめ作成、支部報発行の広報を行いました。

#### (4) 組織活動

今年度は、支部組織について再検討する年としており、大図研会費徴収 WG に 2 名、会員組織 WG に 1 名が支部委員より参加し、今後の大図研について検討いたしました。

本格的にグループ制への移行は来年度になる予定となっており、支部規約の変更については実施いたしませんでした。会員組織 WG の提案により、全国委員会で承認された個人情報の取り扱いについて支部での運用を一部変更しました。

支部としては継続して活動を行いましたが、支部会員が 2012 年度時点の 69 名まで減少しています。

#### (5) 財務

2013 年度に引き続き、会費納入率の向上に努めました。なお、過去の未納率は次のようになっています。2007 年度以前は 0%、2008 年度 1%、2009 年度 1%、2010 年度 3%、2011 年度 1%、2012 年度 1%、2013 年度 1%、2014 年度 9%。多数の企画が実現したため研究交流会費に多くの予算を使用いたしました。

#### (6) 広報とデザイン

「秋の奈良！大学図書館見学ツアー」、大図研京都ワンディセミナー「飛び出せ！ダイトケン学生会員 ～学生の発表！学生との交流！～」及び「大図研近畿 3 支部合同例会日本十進分類法新訂 10 版の全貌」についてチラシの作成を担当しました。ただ特定の担当者に業務が集中してしまったため、次年度はこの点を改めます。

## 2. 2015 年度活動方針

### (1) 研究交流活動

- 会員の発表の場としての研究交流活動の企画に積極的に取り組みます。
- 会員の知的交流の場であると共に非会員への広報でもあるという意味を再認識し、組織拡大への貢献も大きな柱といたします。そのためにも、地域における積極的な参加を促すため、京都および周辺地域の大学図書館等、関連する組織への広報も継続していきます。
- 2015 年セミナーは 7 月と 8 月の計 2 回が既に計画されていますので、開催頻度としては、年 4 回程度を目標といたします。

### (2) 支部報

定期発行と正確で読みやすい誌面の作成とともに、広く寄稿を求めかつ連載記事を企画することにより、コンテンツの一層の充実に努めます。今後も、会員に「発表の場を提供する」という目標のもと、会員間での情報共有が進むためのきっかけを提供することを目指し、引き続き努力していきます。

### (3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

Web サイトを随時更新することで、京都支部が主催・共催する種々の活動情報や電子化された支部報記事を迅速に提供します。その他のコンテンツの拡充についても継続して検討していきます。

また、メーリングリスト"ゆりかもめ"について、定期配信のメールマガジンについて、より読まれるような内容にする工夫を継続するとともに、配信のタイミングについて検討していきます。同時に、その目的である"会員相互の親睦と交流を盛んにすること"の達成を目指し、会員による自由な投稿を促進するよう検討を重ねます。

さらに、広報活動の一環として **Twitter** アカウントの積極的活用を継続します。

### (4) 組織活動

常任委員会、全国委員会の大図研将来検討に伴い、支部組織について再検討する必要があります。

引き続き支部委員より会員組織 **WG** に 1 名参加し、検討を継続いたします。2014 年大図研総会后、臨時総会を開き支部規約等の変更を行なう予定です。

支部としては今後とも継続して活動を行い、支部の持つ魅力を認識し、高め、入会者が大図研京都支部に在籍していることにより一層価値を見いだせるような活動を行います。

### (5) 財務

今後の活発な研究企画実施のため、研究企画費を継続します。常任委員会、全国委員会の大図研将来検討に伴い、会費徴収の方法について再検討する必要があります。2014 年大図研総会后、臨時総会を開き支部規約等の変更を行なう予定です。また、常任委員会の会計補助に支部より 1 名参加する予定です。

### (6) 広報とデザイン

近年活発に行っているセミナー等において、チラシ作成等の広報活動を効果的に行います。また Web サイト等のデザインについて見直し、必要に応じて修正を行います。